



# 平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16年 8月 6日

上場会社名 **東ソ一株式会社**

（コード番号：4042 東証第1部）

（URL <http://www.tosoh.co.jp>）

代 表 者 代表取締役社長 土屋 隆

問合せ先責任者 取締役 経営管理室長 石川 克美

TEL (03) 5427 - 5123

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）法人税等の計上基準等に一部簡便的な手続きを用いております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結（除外）4社

## 2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

### （1）経営成績（連結）の進捗状況

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	119,984	14.2	6,106	-	6,528	-	4,521	-
16年3月期第1四半期	105,058	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	484,388		30,054		25,372		7,296	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	7	56	-	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	11	96	-	-

（注）1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年第1四半期増減率であります。

2. 第1四半期財務・業績の概況は当連結会計年度より作成しておりますので、売上高を除き、前年第1四半期実績及び対前年第1四半期増減率は記載しておりません。

### （2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年3月期第1四半期	571,181	100,603	17.6	168	21
16年3月期第1四半期	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	549,212	99,237	18.1	165	67

### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	6,618	12,467	21,754	19,653
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	33,920	19,515	18,401	16,949

## 【 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 】

当第1四半期（平成16年4月1日～平成16年6月30日）のわが国経済は、生産や設備投資の増加に加え、世界経済の回復に伴う輸出の拡大等により企業収益の改善が進むなど、全体として堅調に推移いたしました。

化学業界につきましても、石油化学製品は原燃料価格が高騰したものの、中国市場を中心とした需要の拡大を背景に海外市況が好調に推移し、また液晶・半導体関連の製品需要も増大したため、総じて良好な事業環境でありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては国内販売価格の是正、販売数量の拡大等に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、売上高は前年同期比で149億25百万円増加の1,199億84百万円、営業利益は61億6百万円、経常利益は65億28百万円、当期純利益は45億21百万円となりました。

当第1四半期の事業別の概況は次のとおりです。

### 石油化学事業

オレフィン製品は、4月に定期修繕を実施しましたが、その後は堅調な需要に支えられ、出荷は好調に推移いたしました。市況につきましては、需給バランスのタイト化及びナフサを始めとする原料価格の高騰を反映して、国内・海外ともに上昇いたしました。

ポリエチレンは、国内出荷が堅調に推移し国内価格は値上げの実施により上昇いたしました。クロロブレンゴムは、輸出がアジア向けを中心に好調に推移しましたが、市況は低迷いたしました。PPS樹脂は自動車分野向けに国内出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に対して9.3%増の357億86百万円となりましたものの、原燃料価格の高騰により4億19百万円の営業損失となりました。

### 基礎原料事業

苛性ソーダは国内・海外ともに出荷が堅調に推移いたしました。塩化ビニルモノマーは定期修繕を実施したことにより生産が減少し輸出が減少いたしました。市況については、塩化ビニル樹脂及び塩化ビニルモノマーは国内価格の値上げが浸透し、海外市況は中国の旺盛な需要を背景に大幅に上昇いたしました。また、本年3月のプラス・テク株式会社及びフィリピン・レジンス・インダストリーズ, Inc. の連結子会社化に伴い、売上高が増加いたしました。

セメントは国内出荷が引き続き低迷しましたが、輸出は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に対して20.3%増の366億85百万円、営業利益は21億17百万円となりました。

## 機能商品事業

エチレンアミンはアジア地域の旺盛な需要を背景に輸出が増加し、臭素系難燃剤は出荷が堅調に推移いたしました。

液体クロマトグラフィー用充填剤は海外における出荷が増加いたしました。全自動エンザイムイムノアッセイ装置は国内・海外ともに出荷が増加し、診断試薬の出荷も好調に推移いたしました。

ジルコニアは国内・海外ともに出荷が増加いたしました。電解二酸化マンガンはアジア向けを中心に輸出が増加し、ハイシリカゼオライトは出荷が堅調に推移いたしました。

石英ガラスは、国内及びアジアの半導体・液晶市場がともに好調に推移したことから、出荷が増加いたしました。スパッタリングターゲットは、主要市場が好調に推移し出荷が増加いたしました。

オルガノ株式会社及び同社の子会社における水処理装置及び薬品については、受注装置の納期等が概ね期末に集中するため低い水準の売上高となっておりますが、当初予想どおり推移するものと見込んでおります。

この結果、売上高は前年同期に対して12.3%増の375億90百万円、営業利益は38億15百万円となりました。

## サービス事業

同事業の売上高は順調に推移し、前年同期に対して18.7%増の99億21百万円、営業利益は5億94百万円となりました。

### 【 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 】

資産は、受注装置等の納期が期末に集中することによる棚卸資産の増加、塩化ビニルモノマーやアニリン製造設備への投資による固定資産の増加等の結果、前連結会計年度末に比べ、219億68百万円増加し、5,711億81百万円となりました。

負債は、設備投資のための資金調達等により借入金が増加した結果、前連結会計年度末に比べ206億47百万円増加し、4,493億21百万円となりました。

株主資本は四半期純利益を計上した結果、前連結会計年度に比べ13億65百万円増加し、1,006億3百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて27億4百万円増加して、196億53百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が77億41百万円ありましたが、棚卸資産の増加、法人税等の支払額の増加などにより66億18百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより124億67百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、設備資金の借入が増加したことなどにより217億54百万円の収入となりました。

3. 平成17年3月期の業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

(1) 中間期（平成16年4月1日～平成16年9月30日）

連結業績 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	245,000	13,000	10,000	5,000
今回修正予想(B)	265,000	19,000	18,000	11,000
増減額(B) - (A)	20,000	6,000	8,000	6,000
増減率	8.2	46.2	80.0	120.0
(参考)前年同期実績 平成15年9月中間期	226,756	7,307	3,795	3,321

単独業績 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	160,000	8,000	9,000	5,000
今回修正予想(B)	175,000	12,000	13,000	8,000
増減額(B) - (A)	15,000	4,000	4,000	3,000
増減率	9.4	50.0	44.4	60.0
(参考)前年同期実績 平成15年9月中間期	148,828	4,643	3,868	4,437

旺盛な需要を背景とした主要製品の市況上昇及び出荷増により、売上高、利益とも当初予想を上回ることが見込まれるため、中間期について前回発表予想を修正いたします。

(2) 通期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

連結業績 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	520,000	37,000	32,000	15,000

単独業績 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	330,000	22,000	23,000	12,000

業績予想につきましては、下期の事業環境の見極めが現時点では困難なため、修正は中間期にとどめ、通期の修正は下期の業績見通しが明らかになり次第行います。

要約連結財務諸表

(1) 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期 (H16.4.1~H16.6.30)		(参考)前連結会計年度 (H15.4.1~H16.3.31)	
		金 額	百分比	金 額	百分比
売上高		119,984	100.0	484,388	100.0
売上原価		93,468	77.9	372,968	77.0
売上総利益		26,515		111,419	
販売費及び一般管理費		20,408	17.0	81,365	16.8
営業利益		6,106	5.1	30,054	6.2
営業外収益		1,760	1.5	5,204	1.1
受取利息及び受取配当金		508		509	
その他営業外収益		1,252		4,695	
営業外費用		1,339	1.1	9,886	2.0
支払利息		1,008		4,624	
持分法による投資損失		1		1,004	
その他営業外費用		328		4,256	
経常利益		6,528	5.4	25,372	5.2
特別利益		1,755	1.5	5,477	1.1
特別損失		543	0.5	14,457	3.0
税金等調整前四半期(当期)純利益		7,741	6.5	16,393	3.4
法人税等		2,861	2.4	8,315	1.7
少数株主利益		357	0.3	781	0.2
四半期(当期)純利益		4,521	3.8	7,296	1.5

## (2) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 (H16.6.30現在)		(参考)前連結会計年度 (H16.3.31現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
<b>(資産の部)</b>					
流動資産	248,779	43.6	235,227	42.8	13,552
現金及び預金	19,936		17,244		2,692
受取手形及び売掛金	135,130		133,724		1,405
棚卸資産	76,925		68,933		7,991
その他	16,786		15,325		1,461
固定資産	322,401	56.4	313,985	57.2	8,416
有形固定資産	244,786		235,714		9,071
無形固定資産	7,839		7,695		143
投資その他の資産	69,775		70,574		799
<b>資産合計</b>	<b>571,181</b>	<b>100.0</b>	<b>549,212</b>	<b>100.0</b>	<b>21,968</b>
<b>(負債の部)</b>					
流動負債	281,536	49.3	262,541	47.8	18,995
支払手形及び買掛金	73,908		72,567		1,340
短期借入金	169,968		148,678		21,289
その他	37,659		41,294		3,635
固定負債	167,785	29.4	166,132	30.2	1,652
社債	32,000		32,000		-
長期借入金	111,917		108,418		3,498
退職給付引当金	20,989		21,969		979
その他	2,878		3,744		866
<b>負債合計</b>	<b>449,321</b>	<b>78.7</b>	<b>428,674</b>	<b>78.0</b>	<b>20,647</b>
<b>(少数株主持分)</b>					
少数株主持分	21,256	3.7	21,300	3.9	44
<b>(資本の部)</b>					
資本金	40,633	7.1	40,633	7.4	-
資本剰余金	29,725	5.2	29,725	5.4	-
利益剰余金	33,218	5.8	31,774	5.8	1,443
其他有価証券評価差額金	4,024	0.7	3,728	0.7	295
為替換算調整勘定	6,083	1.1	5,721	1.0	362
自己株式	915	0.1	904	0.2	10
<b>資本合計</b>	<b>100,603</b>	<b>17.6</b>	<b>99,237</b>	<b>18.1</b>	<b>1,365</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>571,181</b>	<b>100.0</b>	<b>549,212</b>	<b>100.0</b>	<b>21,968</b>

## (3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期 (H16.4.1~H16.6.30)	(参考)前連結会計年度 (H15.4.1~H16.3.31)
		金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益		7,741	16,393
減価償却費		5,785	24,539
売上債権の減少額(増加額)		1,415	5,564
棚卸資産の減少額(増加額)		8,099	3,337
仕入債務の増加額(減少額)		1,505	3,654
法人税等の支払額		8,247	6,940
その他		3,887	5,176
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,618	33,920
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
固定資産の取得による支出		15,722	20,280
固定資産の売却による収入		3,706	753
その他		450	11
投資活動によるキャッシュ・フロー		12,467	19,515
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
借入金・社債の純増加額(純減少額)		25,080	15,152
配当金の支払額		3,000	3,003
その他		325	245
財務活動によるキャッシュ・フロー		21,754	18,401
現金及び現金同等物に係る換算差額		58	163
現金及び現金同等物の増加額(減少額)		2,727	4,159
現金及び現金同等物の期首残高		16,949	21,100
新規連結・連結除外等に伴う現金及び現金同等物の増加額(減少額)		23	8
現金及び現金同等物の期末残高		19,653	16,949

(4) 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期 (H16.4.1~H16.6.30)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	35,786	36,685	37,590	9,921	119,984
営業費用	36,206	34,568	33,775	9,327	113,877
営業利益(損失)	419	2,117	3,815	594	6,106

(参考) 前連結会計年度 (H15.4.1~H16.3.31)

(単位:百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	139,799	138,370	164,899	41,319	484,388
営業費用	136,793	129,433	149,060	39,046	454,333
営業利益	3,005	8,937	15,839	2,272	30,054